

II. 調查結果

Ⅱ. 調査結果

1. 「福岡市の住みやすさ」に関する調査結果の総括

福岡市は、市民100人のうち、

97人が「福岡市のことが好き」で

96人が「福岡市は住みやすい」と感じ

93人が「福岡市にずっと住み続けたい」と願い

80人が「福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたい」と思っている。

福岡市民は、福岡市のことが好き。

住みやすいから、ずっと住み続けたい。

周りの人にも、福岡市を訪れた人にも、役に立ちたい。

福岡市は、住む人も訪れる人も

過ごしやすく、幸せな気持ちになれるまちです。

本意識調査では、「好き」「住みやすい」「ずっと住み続けたい」「福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたい」の主要指標を毎年継続的に調査し、経年変化を比較分析してきた。

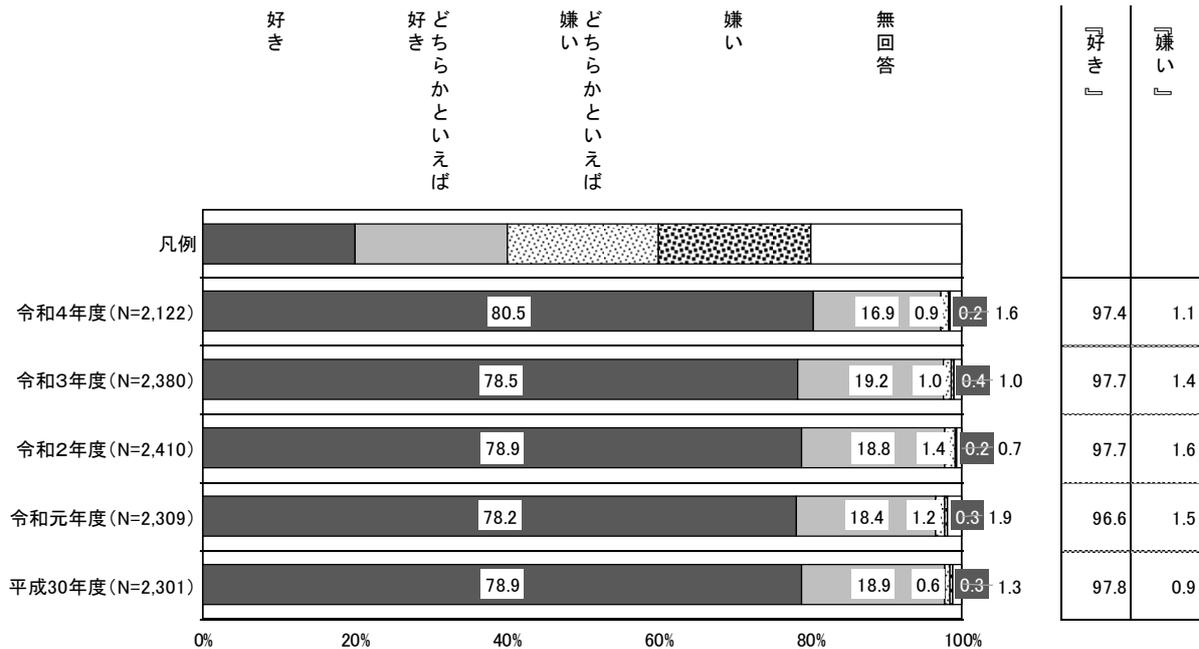
「好き」「住みやすい」「ずっと住み続けたい」とも、例年肯定派が9割を超える高水準で推移しており、今年度も同様の結果となった。

(1) 福岡市の暮らしに関する「4指標」の推移

「福岡市が好き」「福岡市が住みやすい」「福岡市にずっと住み続けたい」「福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたい」という4つの結果指標（以下、4指標という）についてみる。

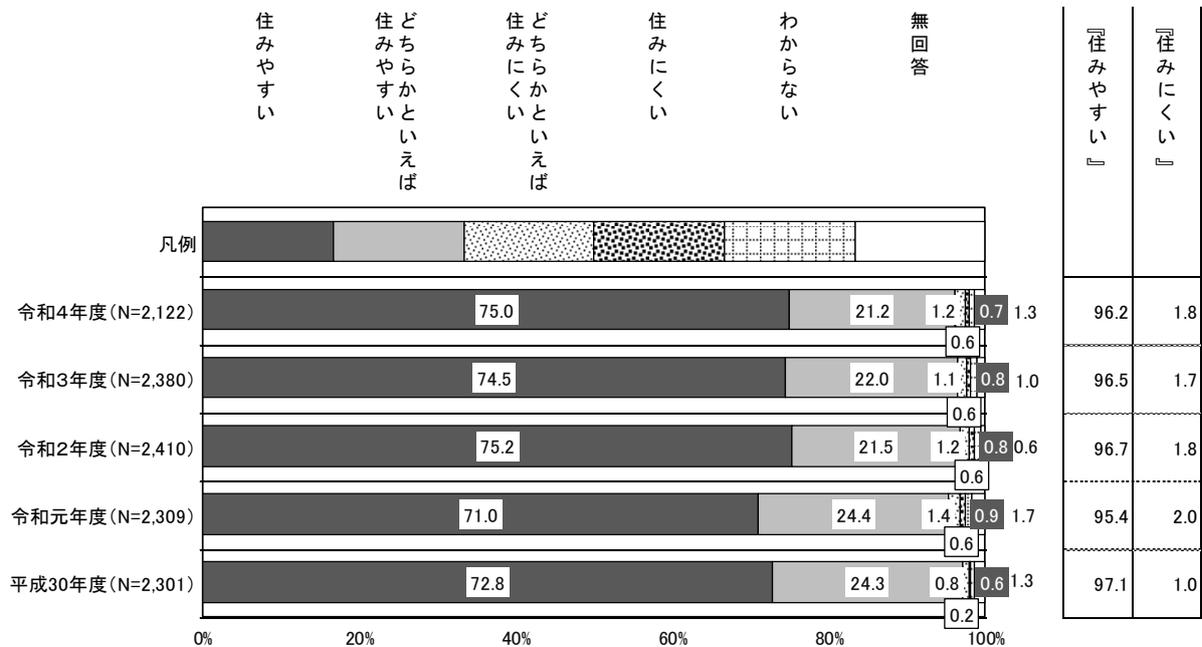
「福岡市が好き」については、肯定派（＝「好き」＋「どちらかといえば好き」の計）が97.4%となり、過去の調査から一貫して高い水準を維持している。このうち積極的肯定の「好き」が80.5%と、過去5年間で最も高い水準となっている。

図表 福岡市が好きか【過去の調査との比較】



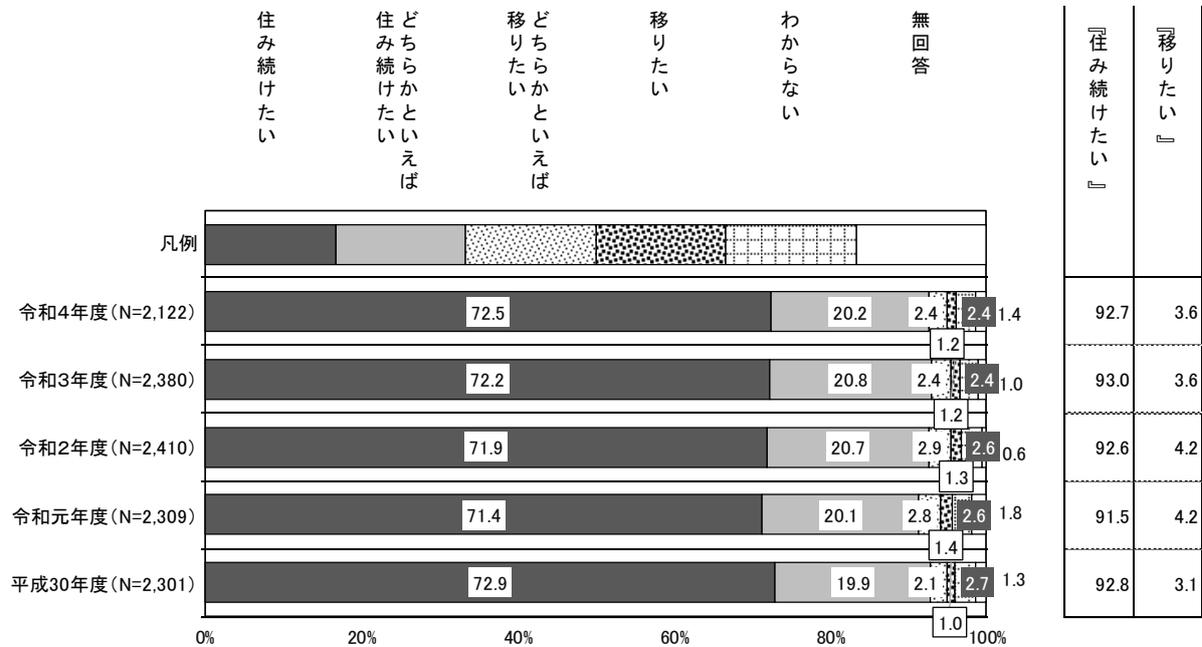
「福岡市が住みやすい」についても、肯定派（＝「住みやすい」＋「どちらかといえば住みやすい」の計）が96.2%と高く、そのうち積極的肯定の「住みやすい」が75.0%と、前年度同様高い水準となっている。

図表 福岡市は住みやすいと思うか【過去の調査との比較】



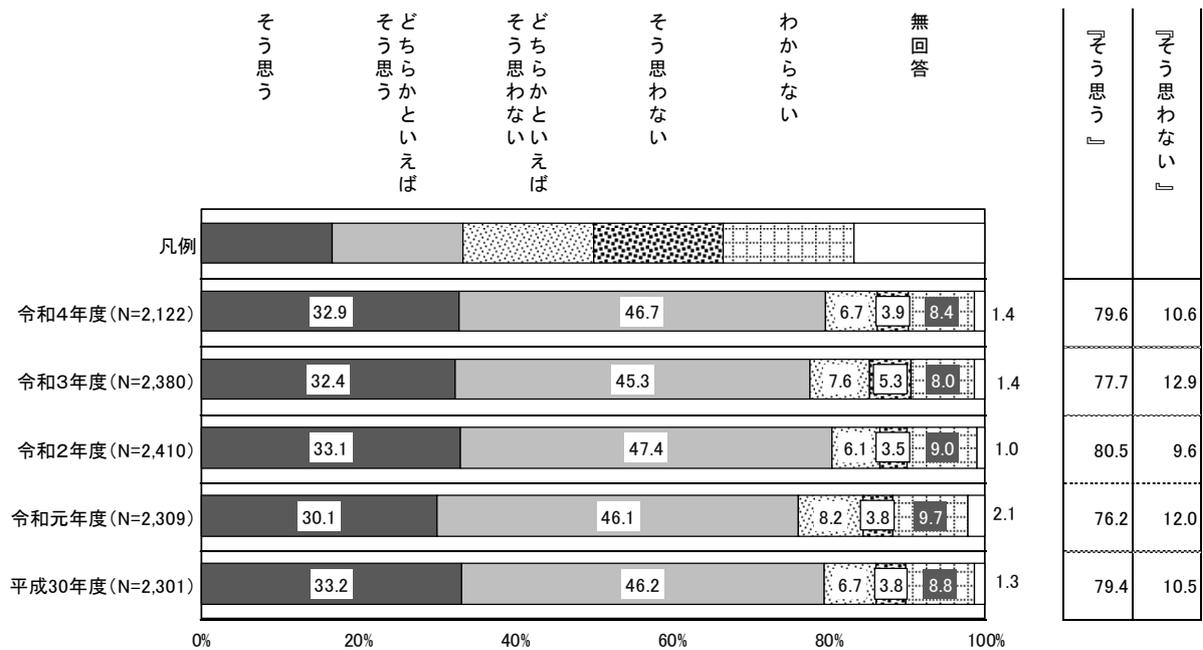
「福岡市にずっと住み続けたい」も、一貫して高い水準で推移しており、肯定派（＝「住み続けたい」＋「どちらかといえば住み続けたい」の計）が 92.7%と、前年度同様高い水準となっている。

図表 福岡市にずっと住み続けたいと思うか【過去の調査との比較】



「福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたい」は、肯定派（＝「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」の計）が8割近く（79.6%）を占め、前年度からやや上昇し、高い水準を維持している。

図表 福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたいと思うか
【過去の調査との比較】



以上のように、4指標は、例年同様の高い水準で推移しており、多くの市民が、心の豊かさや生活の質の高さに満足していることの表れといえる。

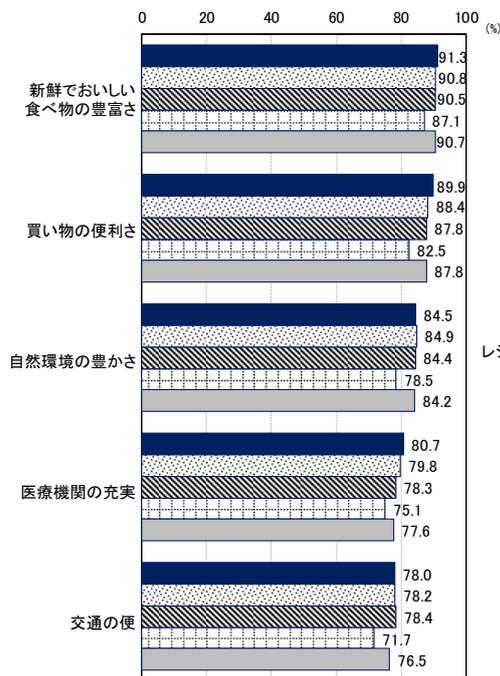
(2) 福岡市の都市環境などの満足度（問5）

福岡市の都市環境などについて、「満足度」（＝「満足している」＋「どちらかといえば満足」の計）及び「不満度」（＝「不満がある」＋「どちらかといえば不満」の計）の特徴と経年推移について述べる。「満足度」については、80%を超えた「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」「買い物の便利さ」「自然環境の豊かさ」「医療機関の充実」に、「交通の便」を加えた5項目が、上位である。昨年度と順位は変わらず、昨年度全て満足度が上昇した上位4項目が、今年度は、3項目がさらに上昇し、高い水準を維持している。

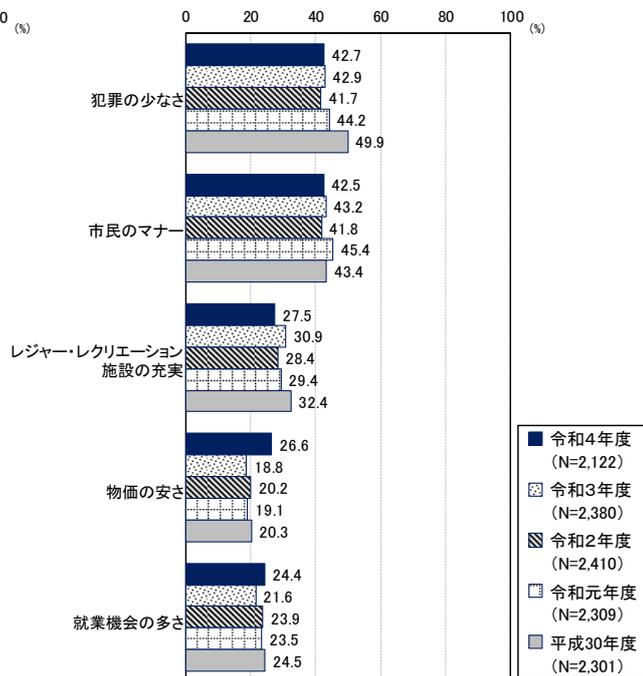
「不満度」が高いものは、「犯罪の少なさ」「市民のマナー」「レジャー・レクリエーション施設の充実」「物価の安さ」「就業機会の多さ」で、前年度から「犯罪の少なさ」と「市民のマナー」の順位が入れ替わったが、どちらも数値自体は改善（不満度が低下）している。「レジャー・レクリエーション施設の充実」を含め、下位3項目の不満度は、いずれも低下した。今年度は、不満度下位5項目に、新たに「物価の安さ」が4位（昨年度7位）となり、数値も前年度から上昇（＋7.8%）しているが、これは、全国的な物価上昇の影響が一因と考えられる。

図表 都市環境などについての満足度推移

【満足度ベスト5推移】



【不満度ワースト5推移】



(3) 「福岡市の都市環境などの満足度」と「好き」「住みやすい」との相関分析

「福岡市の都市環境などの満足度」と「福岡市が好き」「福岡市は住みやすい」について、それぞれ相関係数（下枠参照）をもとに、相関分析を行い、それぞれの評価との関係性について考察した。

※相関係数：2つのデータがどれだけ関連性があるのかを示す係数で、-1～+1の間の数値となる。
関連性が強ければ1に近づき、弱ければ0に近づく。逆に、正反対の動きであれば-1に近づく。

「福岡市の都市環境などの満足度」と「福岡市が好き」において、最も相関係数が高いのは、前年度同様「人の親切や人情味」で、0.336の正の相関を示し、唯一相関係数が0.3を超えている。「人の親切や人情味」は、満足度、不満度とも上位項目には出てこないものの、毎回相関係数の上位で、市民が福岡市に愛着を感じる重要な要素となっている。

昨年度相関係数が0.3を超えて2位であった「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」は、0.3未満に低下し、やや順位を下げた。これに代わり、「教育環境」「子育てのしやすさ」など子どもの生活環境に関する項目が、0.3未満であるものの、上位となった。

図表 『好き』と「都市環境などの満足度」の相関係数と都市環境などの満足度
【過去の調査との比較】

項目	相関係数 (問1と問5)		満足度(%) (問5)	
	令和4年度	平成29年度	令和4年度	平成29年度
人の親切や人情味	0.336	0.274	77.6	80.0
教育環境	0.278	0.230	61.7	59.0
子育てのしやすさ	0.271	0.230	54.8	53.2
新鮮でおいしい食べ物の豊富さ	0.243	0.250	91.3	91.1
就業機会の多さ	0.242	0.202	49.0	49.6
福祉の充実	0.241	0.171	52.7	51.0
地域住民の連帯感の強さ	0.234	0.203	51.9	53.6
買い物の便利さ	0.224	0.194	89.9	89.3
自然環境の豊かさ	0.224	0.226	84.5	85.1
住宅事情	0.224	0.232	74.1	76.5
芸術・文化水準	0.223	0.157	67.5	66.2
市民のマナー	0.216	0.193	47.4	46.8
交通の便	0.216	0.147	78.0	77.7
医療機関の充実	0.210	0.156	80.7	80.6
物価の安さ	0.187	0.190	64.2	72.4
犯罪の少なさ	0.165	0.154	41.6	39.8
レジャー・レクリエーション施設の充実	0.160	0.126	56.9	55.4
自然災害の少なさ	0.126	0.180	76.1	78.5

「福岡市の都市環境などの満足度」と「福岡市は住みやすい」の相関関係をみると、「人の親切や人情味」(0.338)、「住宅事情」(0.326)、「子育てのしやすさ」(0.315)、「自然環境の豊かさ」(0.306)が相関係数0.3を超えて上位となっている。このほか、「教育環境」「交通の便」(各0.298)、「就業機会の多さ」(0.296)、「地域住民の連帯感の強さ」(0.294)も相関係数が高い。

上位項目は全て平成29年度調査から数値が上昇し、より相関が強まっている。「福岡市が好き」同様、「人の親切や人情味」が最も重要な項目だが、昨年度最上位だった「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」は順位を下げ、住宅や子育て環境、教育、交通の便など、より市民生活との関わりの強い都市環境に関する項目の相関係数が上位となった。市民が、自身の生活環境をより重視し、住みやすさを感じるようになったといえる。

図表 『住みやすい』と「都市環境などの満足度」の相関係数と都市環境などの満足度
【過去の調査との比較】

項目	相関係数 (問2と問5)		満足度(%) (問5)	
	令和4年度	平成29年度	令和4年度	平成29年度
人の親切や人情味	0.338	0.302	77.6	80.0
住宅事情	0.326	0.272	74.1	76.5
子育てのしやすさ	0.315	0.291	54.8	53.2
自然環境の豊かさ	0.306	0.249	84.5	85.1
教育環境	0.298	0.251	61.7	59.0
交通の便	0.298	0.235	78.0	77.7
就業機会の多さ	0.296	0.224	49.0	49.6
地域住民の連帯感の強さ	0.294	0.238	51.9	53.6
新鮮でおいしい食べ物の豊富さ	0.284	0.265	91.3	91.1
買い物の便利さ	0.274	0.230	89.9	89.3
福祉の充実	0.272	0.220	52.7	51.0
医療機関の充実	0.255	0.207	80.7	80.6
物価の安さ	0.241	0.241	64.2	72.4
市民のマナー	0.229	0.204	47.4	46.8
芸術・文化水準	0.190	0.165	67.5	66.2
犯罪の少なさ	0.176	0.167	41.6	39.8
レジャー・レクリエーション施設の充実	0.150	0.130	56.9	55.4
自然災害の少なさ	0.144	0.174	76.1	78.5

2. 「福岡市の住みやすさ」に関する調査結果

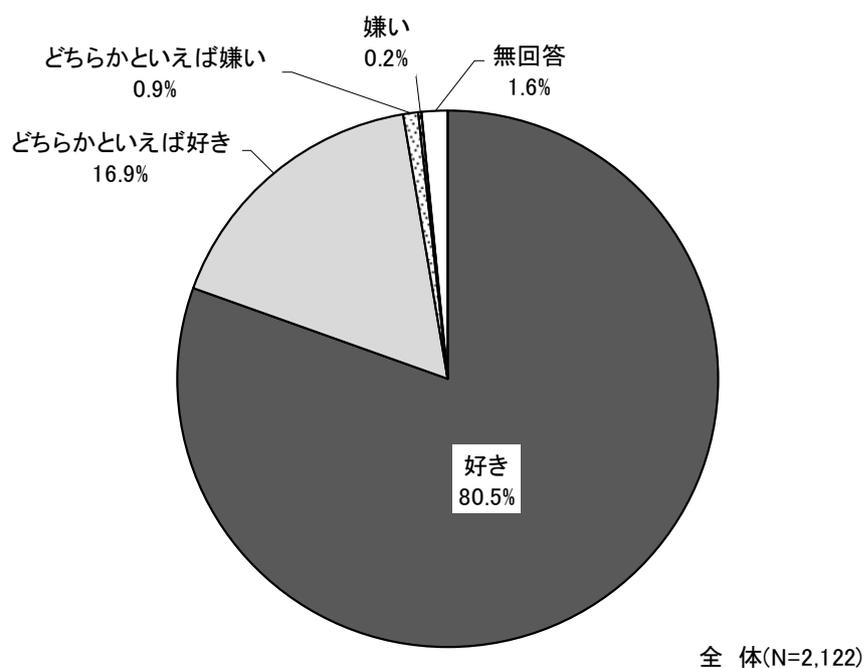
(1) 福岡市が好きか

問1 あなたは、福岡市が好きですか。あてはまるものを**1つだけ**選び、番号に○をつけてください。

福岡市が好きかについて聞いたところ、「好き」が 80.5%と最も多く、次いで「どちらかといえば好き」(16.9%)となっている。

また、『好き』(=「好き」+「どちらかといえば好き」)の割合は 97.4%で9割台後半となっている。一方、『嫌い』(=「嫌い」+「どちらかといえば嫌い」)の割合は 1.1%となっている。

図表 福岡市が好きか【全体】

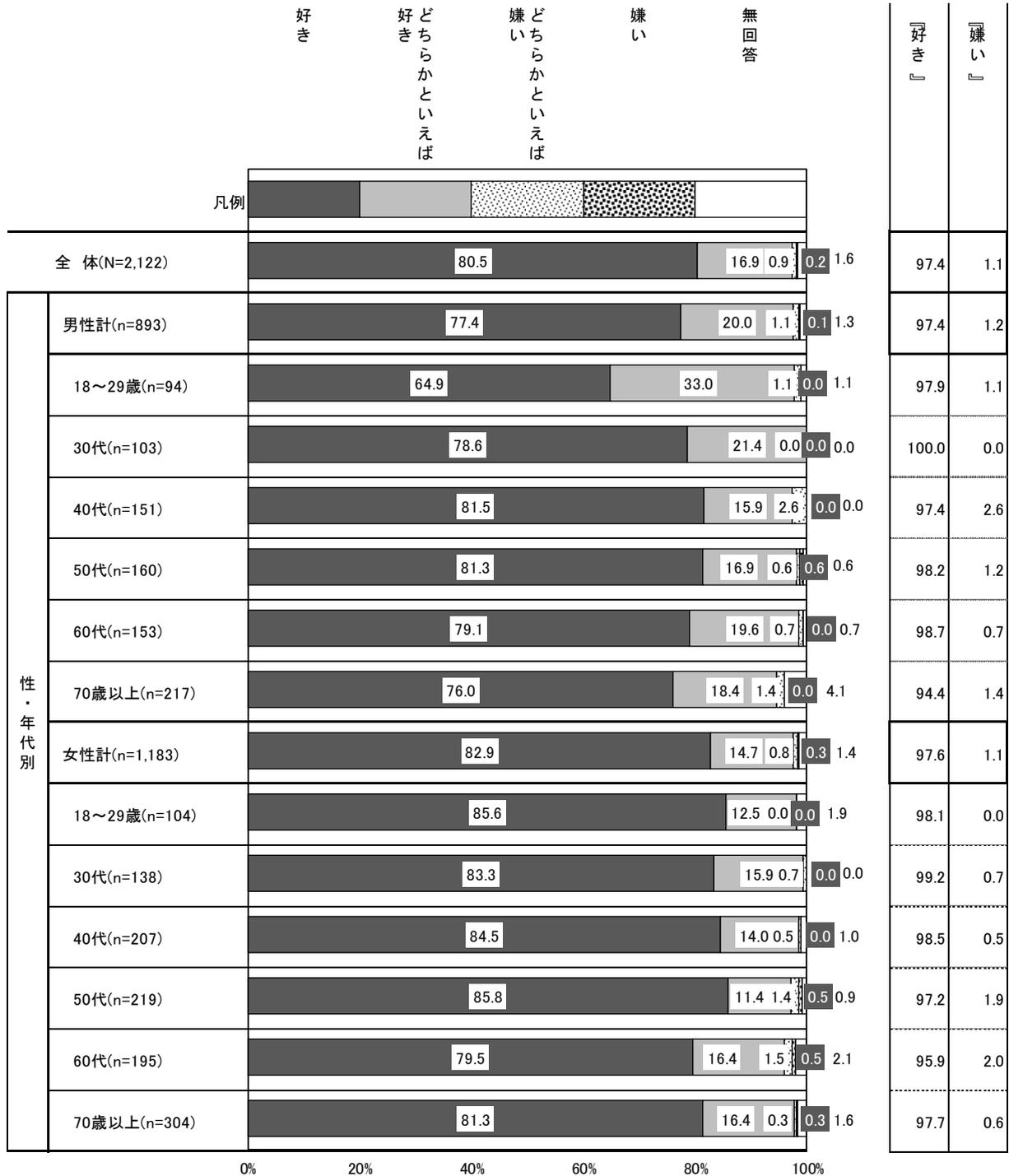


『好き』	97.4%
『嫌い』	1.1%

性別にみると、男女ともに『好き』の割合が9割を超えている。

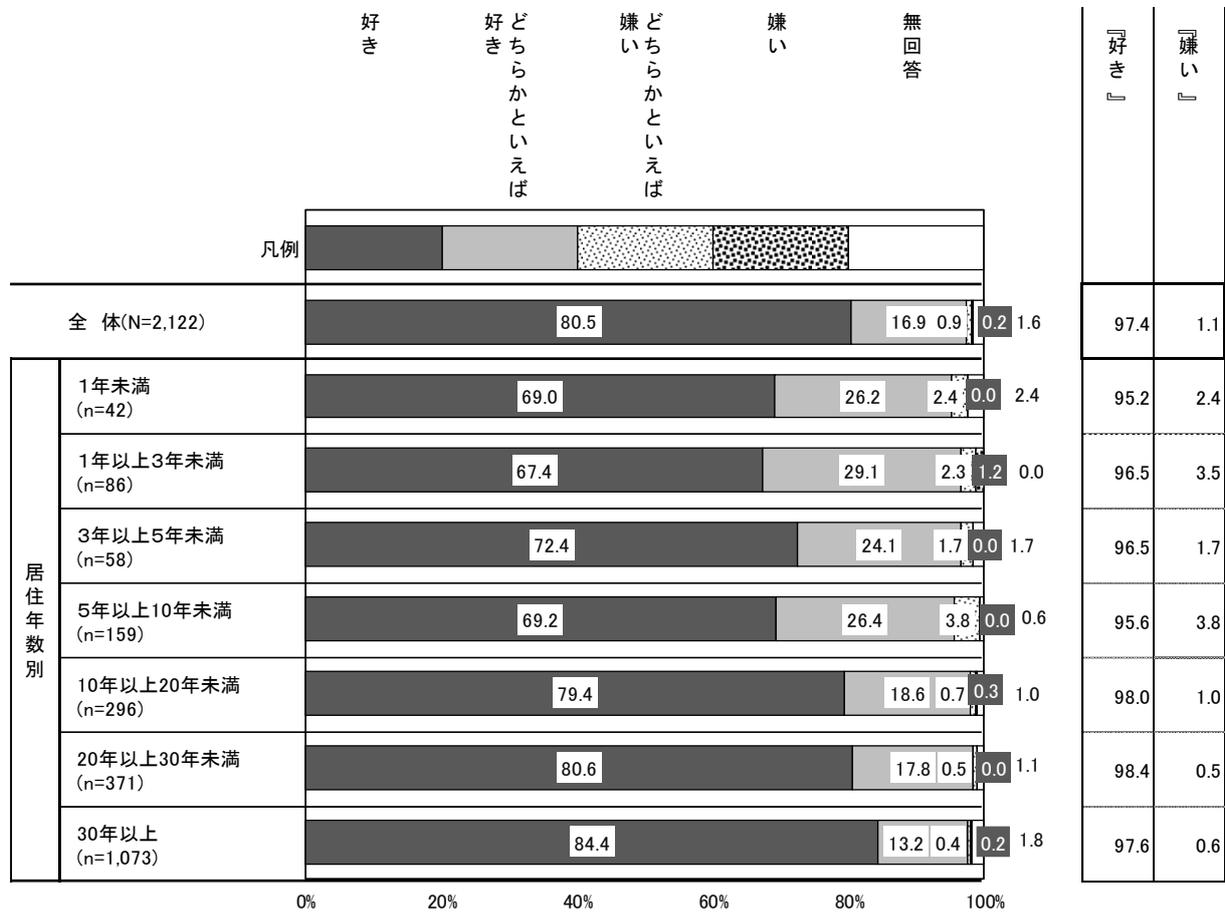
性・年代別にみると、男女ともにいずれの年代でも『好き』の割合が9割を超えている。その内訳をみると、男性18～29歳では「好き」が6割台にとどまっているものの、男性40代・50代では8割を超え、女性では60代以外では「好き」が8割を超えている。

図表 福岡市が好きか【性・年代別】



居住年数別にみると、居住年数が長いほど「好き」の割合が高くなる傾向があり、30年以上では「好き」の割合が84.4%と最も高くなっている。

図表 福岡市が好きか【居住年数別】



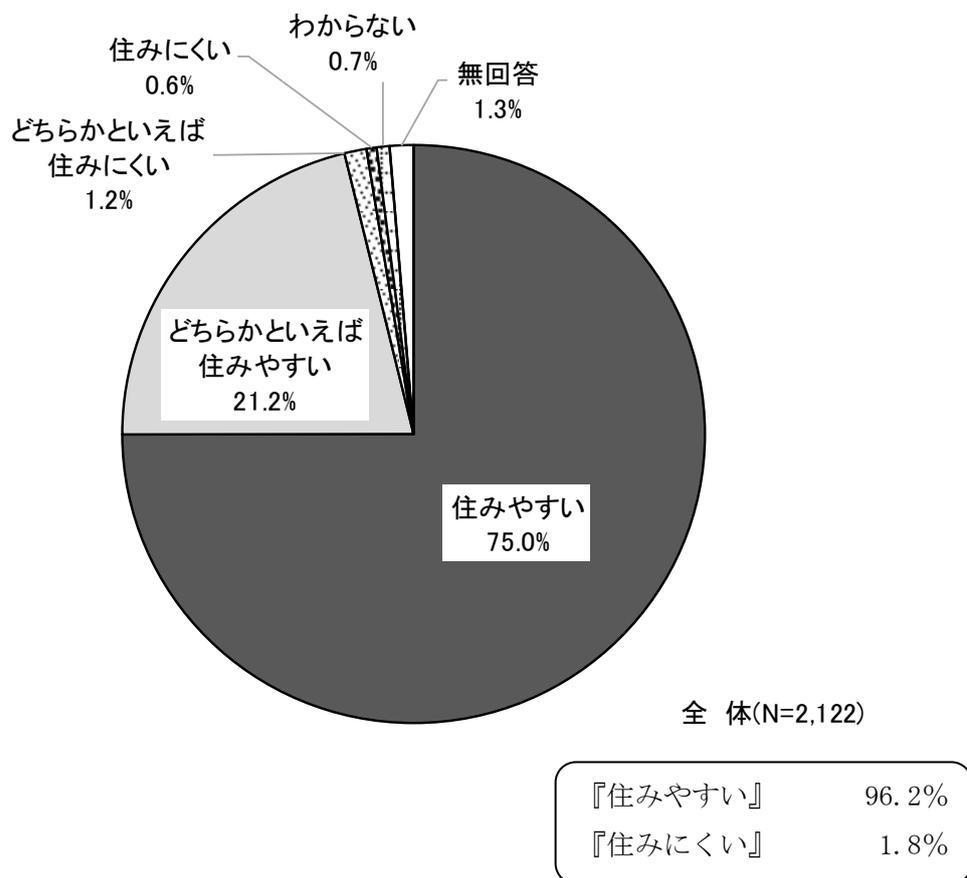
(2) 福岡市は住みやすいと思うか

問2 総合的にみて、福岡市は住みやすいと思いますか。あてはまるものを**1つだけ**選び、番号に○をつけてください。

総合的にみて、福岡市は住みやすいと思うかについて聞いたところ、「住みやすい」が 75.0%と最も多く、次いで「どちらかといえば住みやすい」(21.2%)となっている。

また、『住みやすい』(=「住みやすい」+「どちらかといえば住みやすい」)の割合は 96.2%で9割後半となっている。一方、『住みにくい』(=「住みにくい」+「どちらかといえば住みにくい」)の割合は1.8%となっている。

図表 福岡市は住みやすいと思うか【全体】

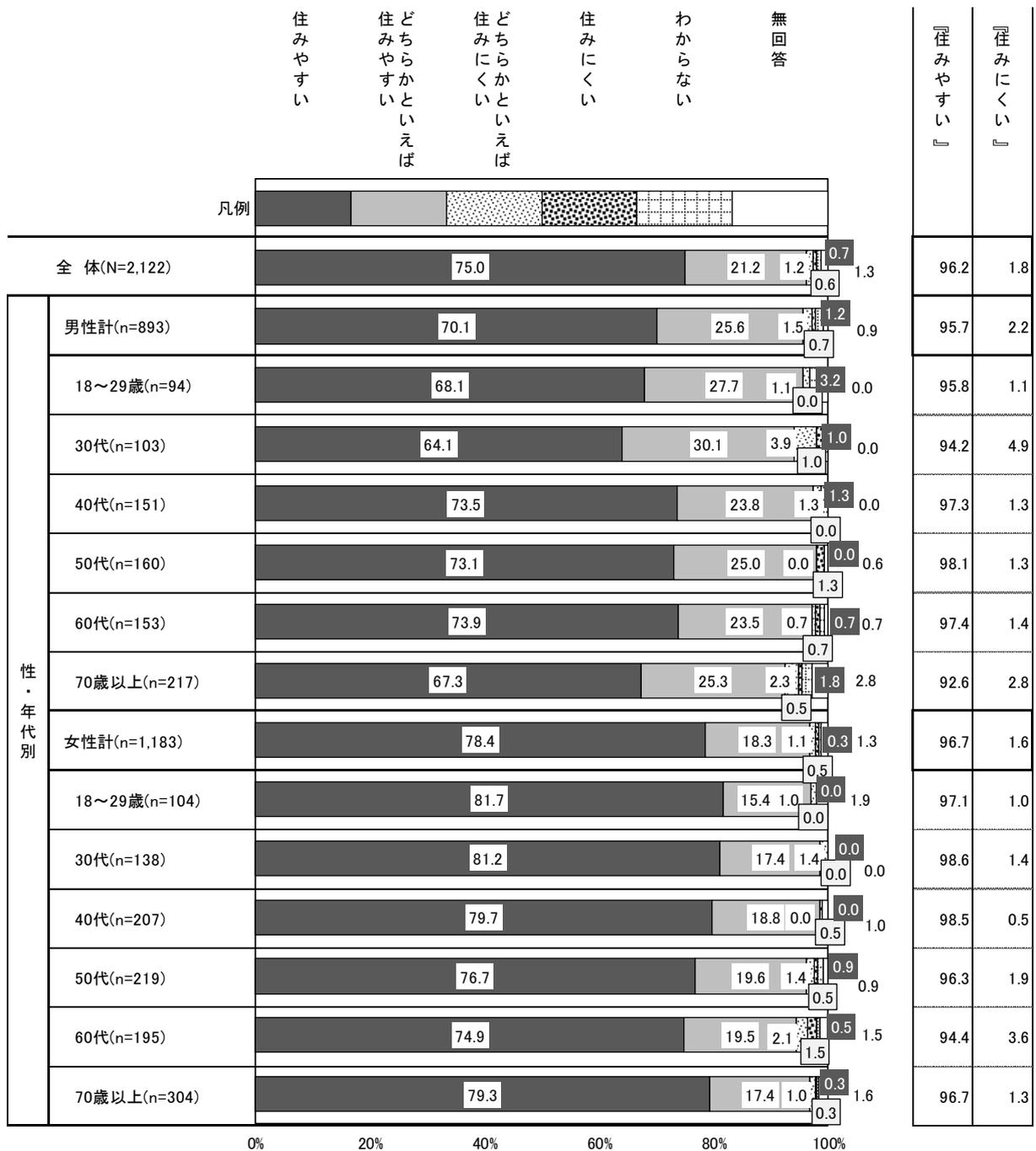


性別にみると、男女ともに『住みやすい』の割合が9割を超えている。

性・年代別にみると、男女ともにいずれの年代でも『住みやすい』の割合が9割を超えている。

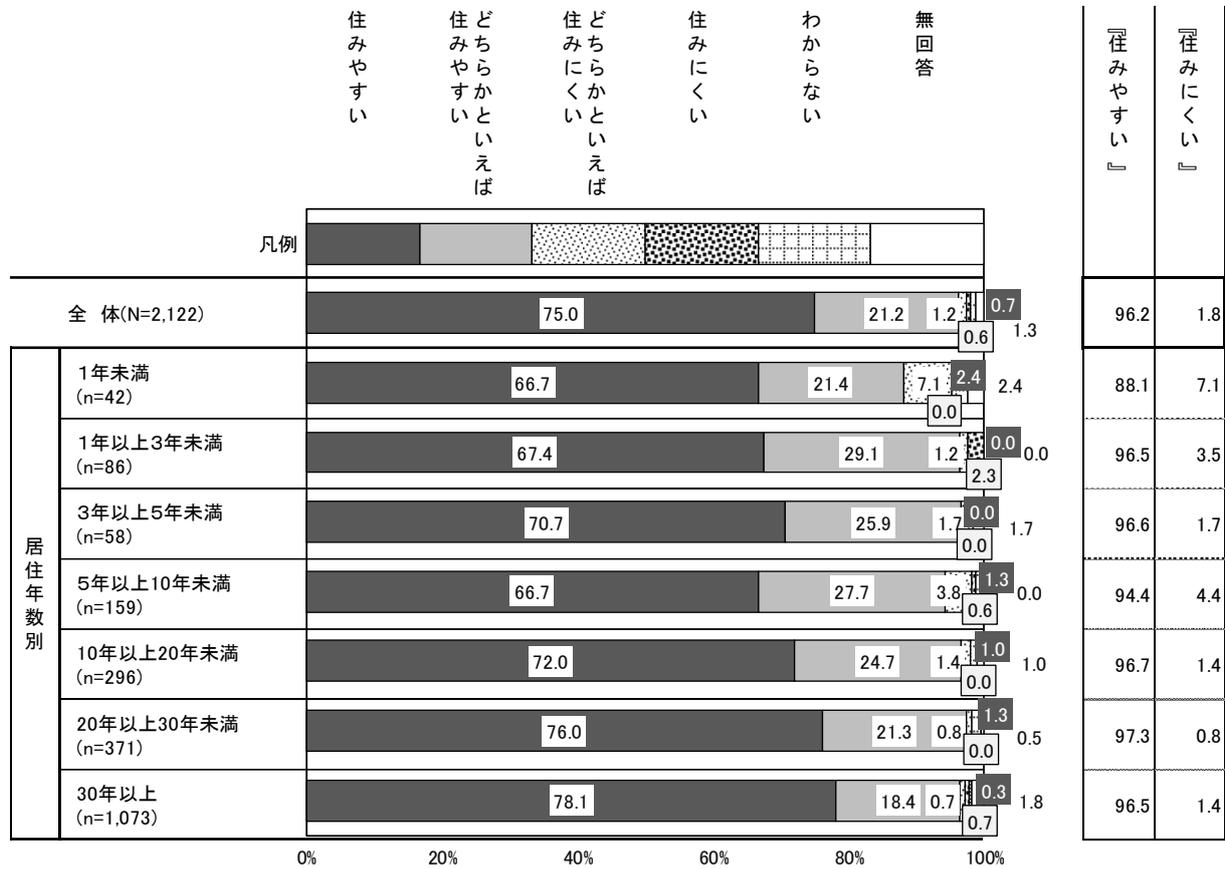
その内訳をみると、女性18～29歳・30代で「住みやすい」が8割を超えており、他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 福岡市は住みやすいと思うか【性・年代別】



居住年数別にみると、概ね居住年数が長いほど「住みやすい」の割合が高くなっており、30年以上では「住みやすい」が78.1%と最も高くなっている。

図表 福岡市は住みやすいと思うか【居住年数別】



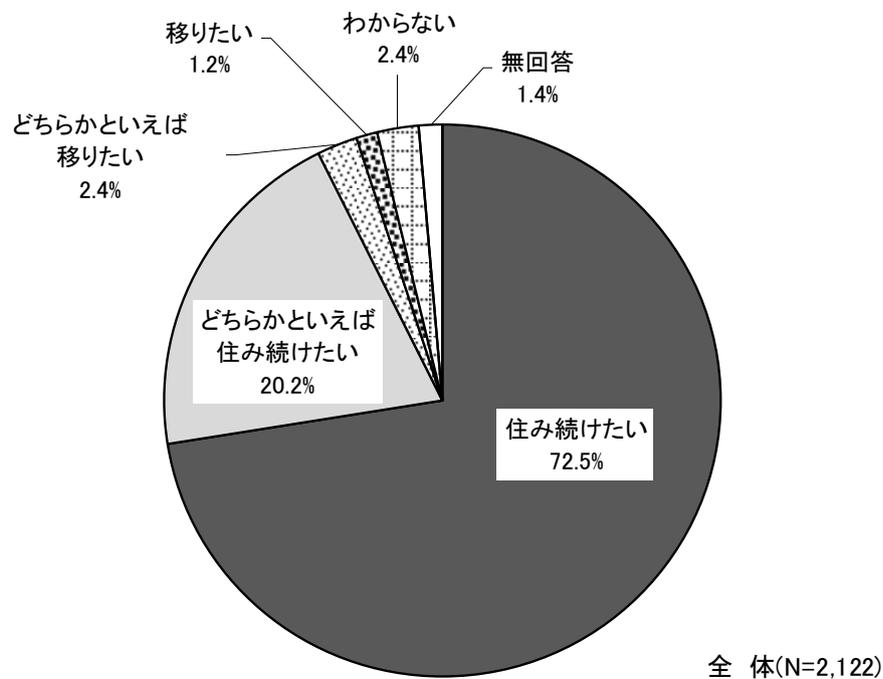
(3) 福岡市にずっと住み続けたいと思うか

問3 あなたは、事情が許せば福岡市にずっと住み続けたいと思いますか。あてはまるものを**1つだけ**選び、番号に○をつけてください。

事情が許せば福岡市にずっと住み続けたいと思うかについて聞いたところ、「住み続けたい」が72.5%と最も多く、次いで「どちらかといえば住み続けたい」(20.2%)となっている。

また、『住み続けたい』(=「住み続けたい」+「どちらかといえば住み続けたい」)の割合は92.7%となっている。一方、『移りたい』(=「移りたい」+「どちらかといえば移りたい」)の割合は3.6%となっている。

図表 福岡市にずっと住み続けたいと思うか【全体】

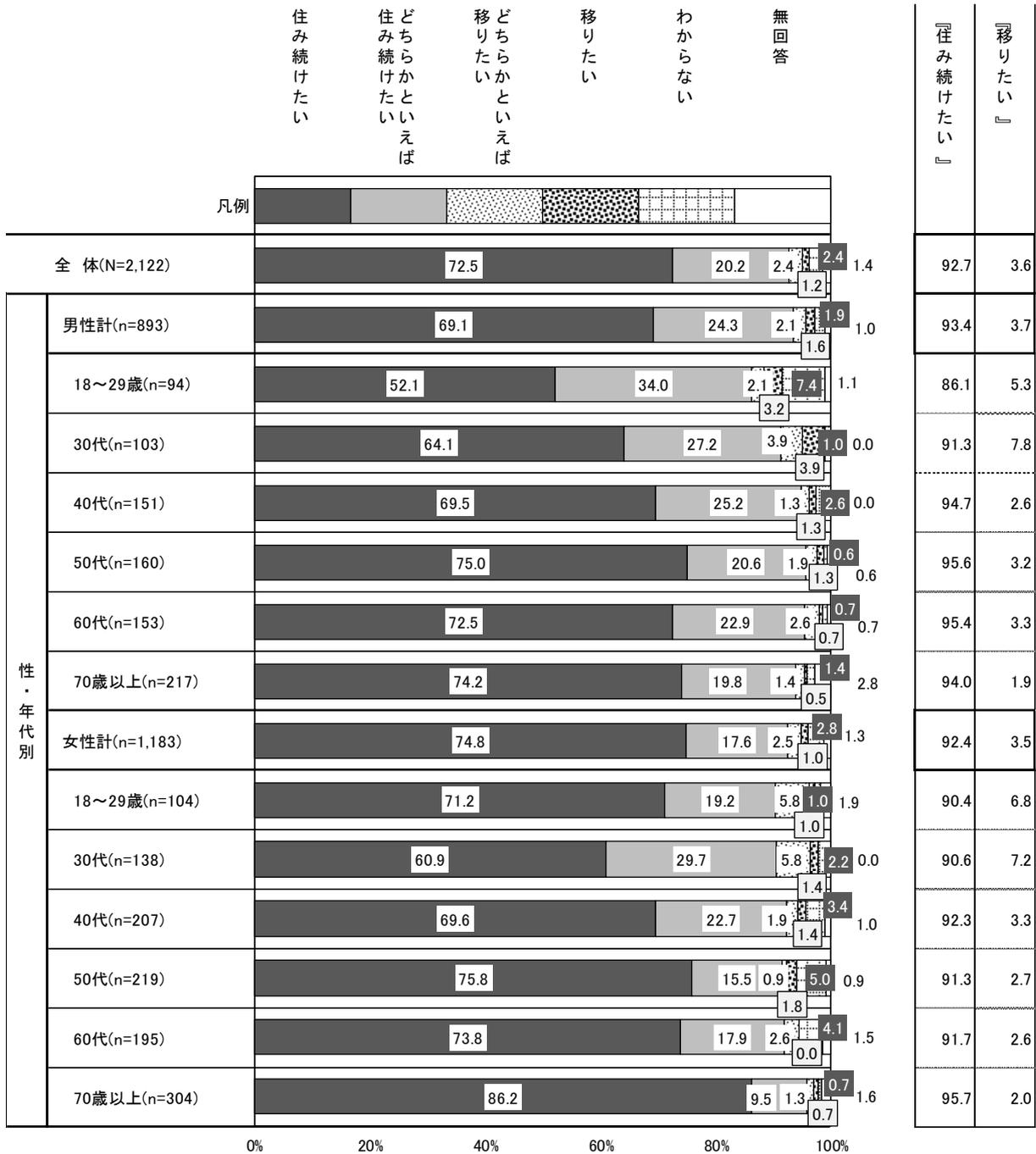


『住み続けたい』	92.7%
『移りたい』	3.6%

性別にみると、男女ともに『住み続けたい』の割合が9割を超えている。

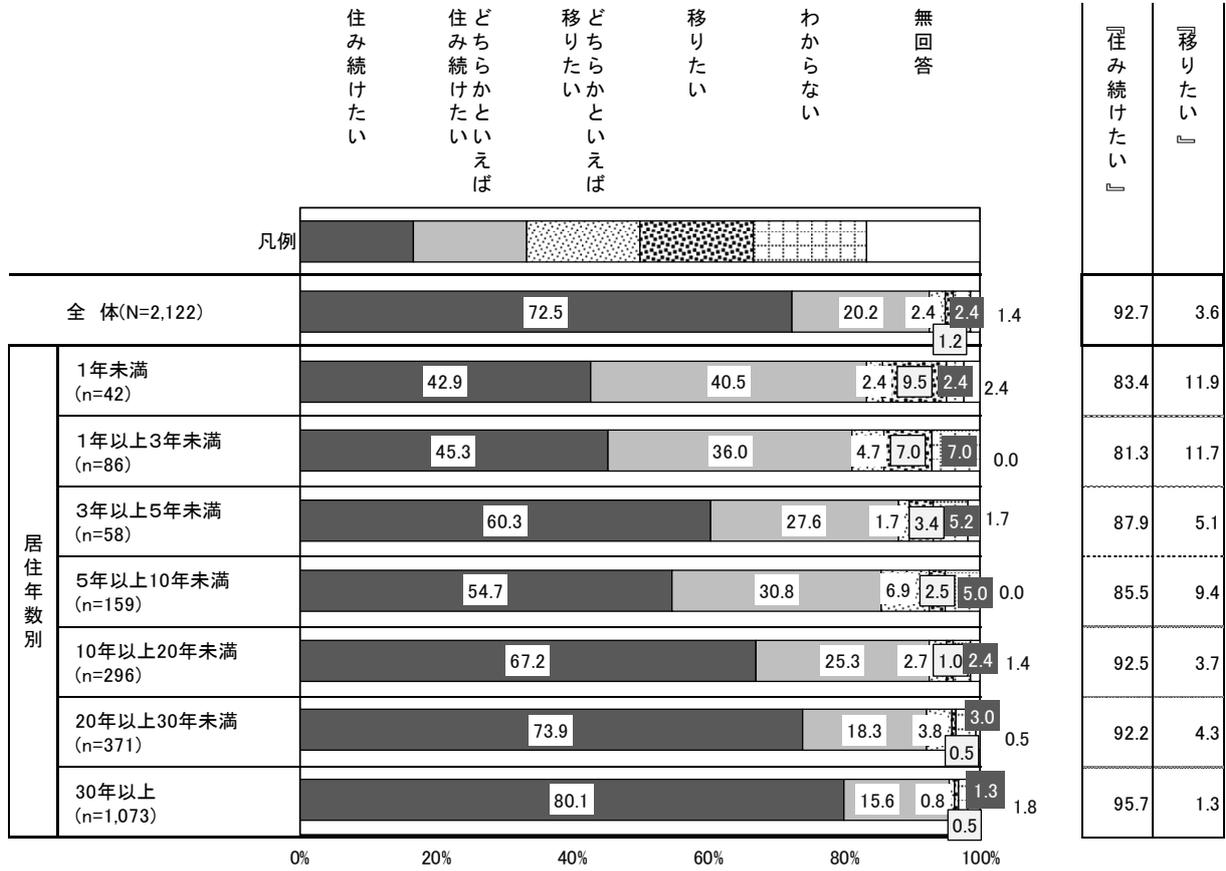
性・年代別にみると、男性 18～29 歳では『住み続けたい』の割合が8割台となっており、他の性・年代に比べて低くなっている。

図表 福岡市にずっと住み続けたいと思うか【性・年代別】



居住年数別にみると、概ね居住年数が長くなるほど「住み続けたい」の割合が高くなっており、30年以上では80.1%と最も高くなっている。

図表 福岡市にずっと住み続けたいと思うか【居住年数別】



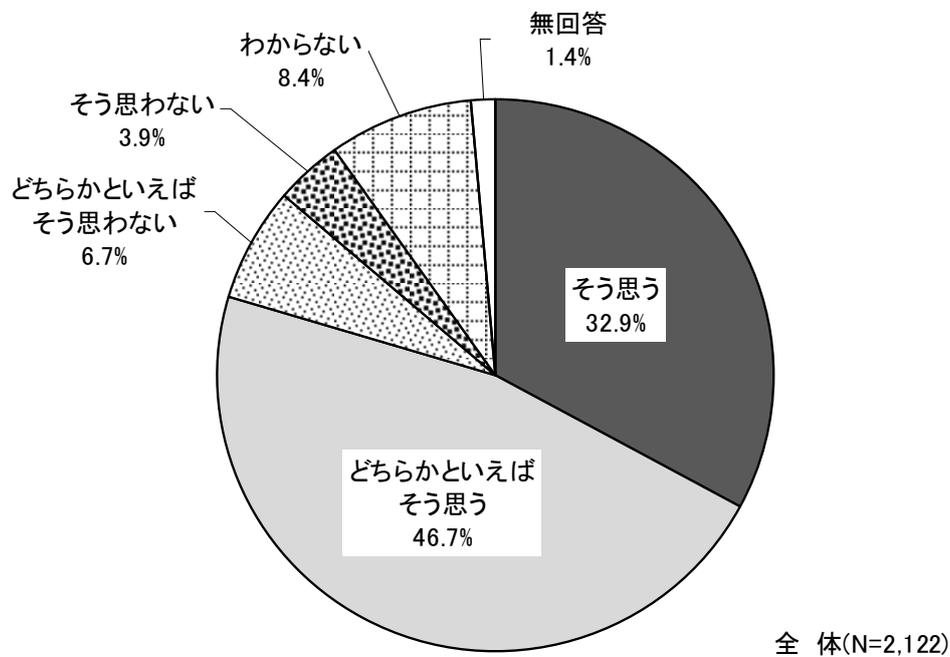
(4) 福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたいと思うか

問4 あなたは、福岡市で暮らす人や福岡市を訪れる人のために、何か役に立ちたいと思いますか。あてはまるものを**1つだけ**選び、番号に○をつけてください。

福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたいと思うかについて聞いたところ、「どちらかといえばそう思う」が46.7%と最も多く、次いで「そう思う」(32.9%)となっている。

また、『そう思う』(=「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)の割合は79.6%となっている。一方、『そう思わない』(=「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」)の割合は10.6%となっている。

図表 福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたいと思うか【全体】

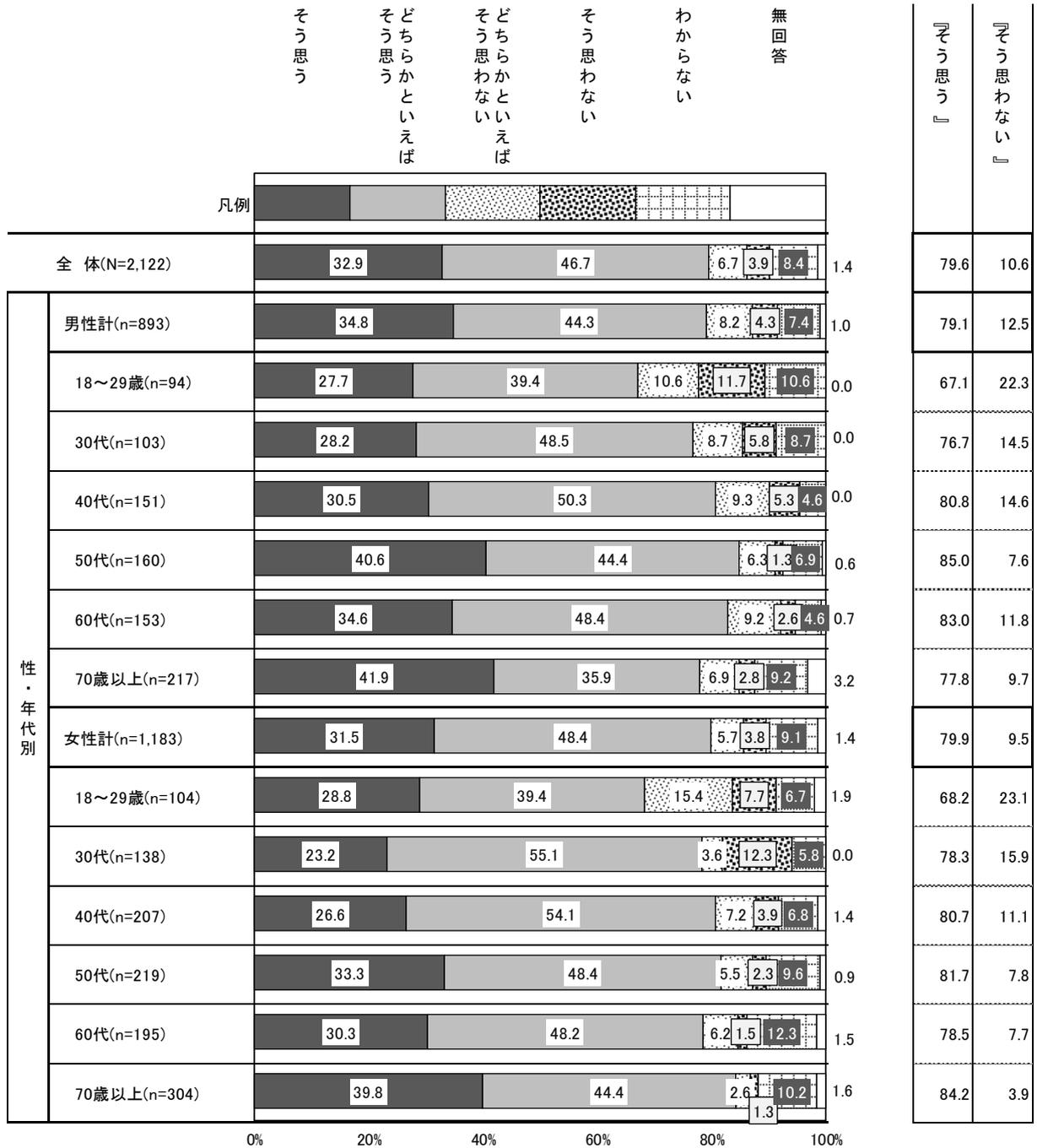


『そう思う』	79.6%
『そう思わない』	10.6%

性別にみると、大きな違いはみられない。

性・年代別にみると、男性 40代～60代、女性 40代・50代・70歳以上では、『そう思う』の割合が8割台となっており、他の性・年代に比べて高くなっている。また、男女とも 18～29歳では『そう思う』の割合が6割台となっており、他の性・年代に比べて低くなっている。

図表 福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたいと思うか【性・年代別】



(5) 福岡市の都市環境などに関する満足度

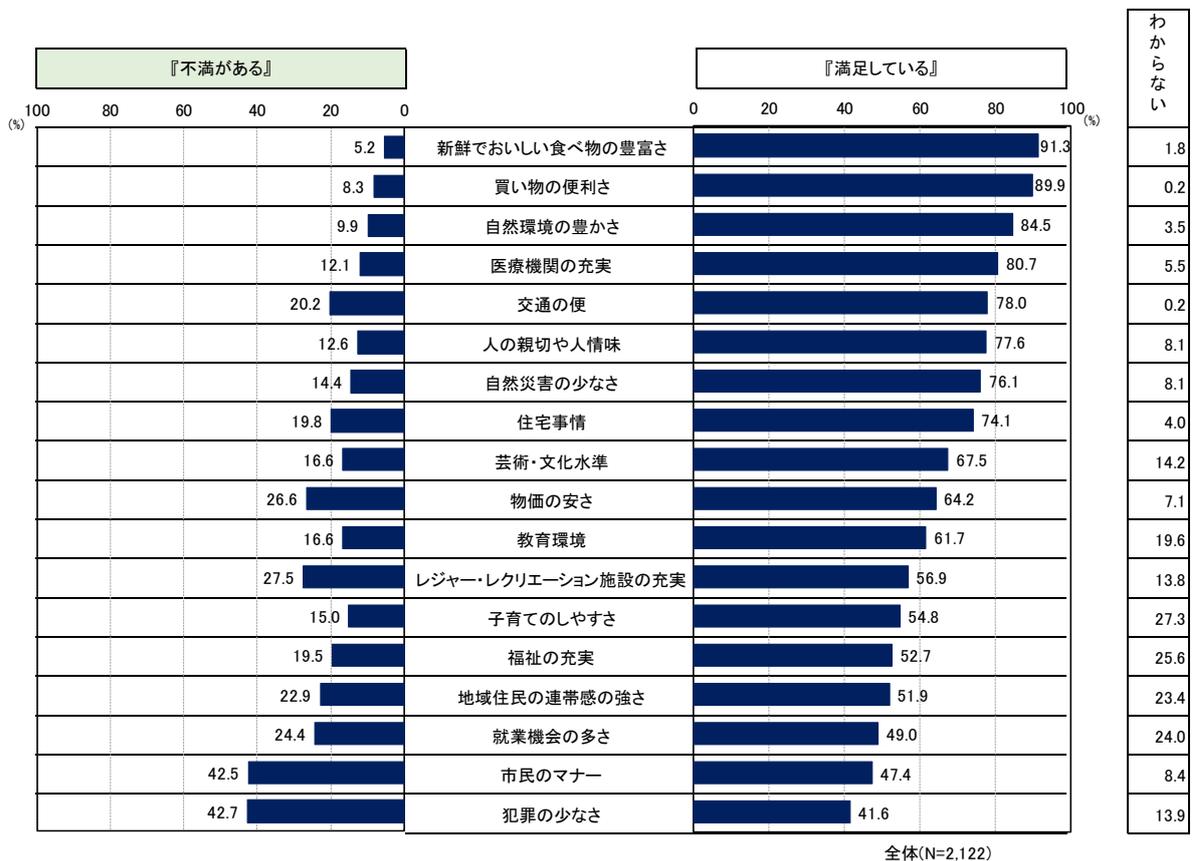
問5 以下の福岡市の都市環境などについて、どの程度満足していますか。もしくは不満がありますか。(1)～(18)のそれぞれについて、あてはまるものを1つつ選び、番号に○をつけてください。

福岡市の都市環境などで、『満足している』(=「満足している」+「どちらかといえば満足」)は「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」が91.3%と最も多く、次いで「買い物の便利さ」(89.9%)、「自然環境の豊かさ」(84.5%)となっている。

一方、『不満がある』(=「不満がある」+「どちらかといえば不満」)は「犯罪の少なさ」が42.7%と最も多く、次いで「市民のマナー」(42.5%)となっている。

また、「わからない」は「子育てのしやすさ」が27.3%と最も多く、次いで「福祉の充実」(25.6%)、「就業機会の多さ」(24.0%)、「地域住民の連帯感の強さ」(23.4%)となっている。

図表 福岡市の都市環境などに関する満足度【全体】



福岡市の都市環境などで『満足している』点について、性別にみると、男女ともに「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」（男性：89.7%、女性：92.7%）の満足度が最も高くなっている。

性・年代別にみると、男性40代以下、女性30代では「買い物の便利さ」の満足度が最も高くなっている。

図表 福岡市の都市環境などで『満足している』点【性・年代別】

単位：%

	調査数	自然環境の豊かさ	住宅事情	交通の便	買い物の便利さ	物価の安さ	新鮮でおいしい食べ物の豊富さ	芸術・文化水準	教育環境	子育てのしやすさ
全体	2,122	84.5 (3位)	74.1	78.0 (5位)	89.9 (2位)	64.2	91.3 (1位)	67.5	61.7	54.8
男性計	893	82.7 (3位)	73.3	74.9	88.9 (2位)	62.4	89.7 (1位)	65.9	60.2	53.5
18～29歳	94	68.1	70.2	83.0 (3位)	89.4 (1位)	50.0	89.3 (2位)	68.1	55.3	40.4
30代	103	81.6 (3位)	68.9	66.0	93.2 (1位)	61.2	87.4 (2位)	64.1	48.6	36.9
40代	151	80.2 (3位)	73.6	74.9	91.4 (1位)	65.6	90.8 (2位)	66.3	60.9	58.3
50代	160	84.4 (3位)	68.8	70.0	87.5 (2位)	70.6	91.3 (1位)	68.2	58.1	56.9
60代	153	88.3 (3位)	75.1	73.9	88.9 (2位)	61.4	91.5 (1位)	62.1	60.8	58.9
70歳以上	217	86.7 (3位)	80.7	79.7	87.1 (1位)	61.7	87.1 (1位)	66.4	68.7	59.0
女性計	1,183	85.9 (3位)	74.5	80.1 (5位)	91.0 (2位)	66.1	92.7 (1位)	69.0	62.6	55.7
18～29歳	104	82.7 (4位)	75.0	80.8 (5位)	93.3 (2位)	61.5	94.2 (1位)	69.2	54.8	33.6
30代	138	83.3 (4位)	65.2	79.0 (5位)	96.3 (1位)	65.2	92.1 (2位)	72.4	57.9	49.3
40代	207	85.1 (3位)	74.4	81.7 (4位)	93.2 (2位)	64.7	93.7 (1位)	64.2	62.8	58.9
50代	219	84.4 (3位)	72.2	79.5 (5位)	92.7 (2位)	69.9	95.4 (1位)	68.9	60.2	57.5
60代	195	89.3 (2位)	75.4	77.4	87.7 (3位)	69.2	92.4 (1位)	73.9	65.1	60.0
70歳以上	304	86.8 (2位)	80.2	81.6	86.5 (3位)	64.8	90.1 (1位)	67.8	68.1	60.8

	就業機会の多さ	医療機関の充実	福祉の充実	人の親切や人情味	の地域住民の連帯感	自然災害の少なさ	犯罪の少なさ	市民のマナー	充エレ 実ー レ ジ ャ ー シ ョ ン ・ 施 設 の リ	
49.0	80.7 (4位)	52.7	77.6	51.9	76.1	41.6	47.4	56.9	全体	
49.2	80.0 (4位)	51.4	76.0 (5位)	50.9	73.7	42.6	44.6	56.0	男性計	
50.0	77.7 (4位)	51.0	69.1	45.8	72.4 (5位)	30.8	42.5	58.5	18～29歳	
45.7	72.8 (4位)	44.7	69.0 (5位)	38.8	64.1	32.0	37.9	52.5	30代	
45.6	79.5 (4位)	49.7	76.1 (5位)	56.9	71.6	37.1	38.4	55.6	40代	
60.6	81.9 (4位)	51.9	80.6 (5位)	61.2	71.3	40.7	46.9	60.1	50代	
45.1	77.7 (5位)	41.8	81.0 (4位)	43.2	73.8	44.5	39.2	50.3	60代	
47.9	84.3 (4位)	64.1	76.5	53.5	81.1 (5位)	59.0	56.2	59.5	70歳以上	
48.9	81.3 (4位)	53.6	78.6	52.5	77.6	40.7	48.8	57.5	女性計	
50.0	85.6 (3位)	50.9	78.9	43.3	71.2	32.7	52.8	62.5	18～29歳	
57.2	86.2 (3位)	42.0	74.6	46.3	72.4	26.8	42.8	54.3	30代	
53.1	78.3 (5位)	50.7	74.4	47.9	72.0	34.7	45.8	56.6	40代	
52.1	76.2	52.5	81.2 (4位)	49.3	75.8	38.8	45.7	56.6	50代	
48.2	80.5 (5位)	49.2	78.4	55.4	85.6 (4位)	50.2	48.7	59.0	60代	
41.1	83.5 (4位)	66.2	81.6	61.9	82.6 (5位)	51.0	56.0	58.9	70歳以上	

福岡市の都市環境などで『満足している』点について、行政区別にみると、東区、中央区、南区、早良区、西区では「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」、博多区、中央区、城南区では「買い物の便利さ」の満足度が最も高くなっている。

図表 福岡市の都市環境などで『満足している』点【行政区別】

単位：%

	調査数	自然環境の豊かさ	住宅事情	交通の便	買い物の便利さ	物価の安さ	新鮮でおいしい食べ物の豊富さ	芸術・文化水準	教育環境	子育てのしやすさ
全体	2,122	84.5	74.1	78.0	89.9	64.2	91.3	67.5	61.7	54.8
東区	404	85.2	74.0	75.7	88.4	62.9	89.9	64.9	61.2	55.7
博多区	274	74.8	69.4	79.6	91.2	63.5	89.0	68.2	52.6	44.5
中央区	270	84.8	73.4	82.2	92.9	66.0	92.9	66.3	57.4	47.8
南区	354	84.5	81.4	75.4	86.7	63.6	90.7	64.6	61.6	55.1
城南区	164	84.7	69.5	75.6	91.4	63.4	89.6	71.9	61.6	58.5
早良区	321	91.3	74.4	80.6	91.0	69.1	93.1	71.6	71.7	63.6
西区	292	85.6	72.6	76.8	91.1	63.7	94.2	68.8	63.3	57.5

就業機会の多さ	医療機関の充実	福祉の充実	人の親切や人情味	地域住民の連帯感の強さ	自然災害の少なさ	犯罪の少なさ	市民のマナー	レジャー・レクリエーション施設の充実	
49.0	80.7	52.7	77.6	51.9	76.1	41.6	47.4	56.9	全体
49.0	80.7	51.2	78.2	49.5	77.0	40.3	46.3	58.9	東区
50.7	79.6	49.3	74.8	46.4	76.7	36.1	44.9	55.5	博多区
49.3	82.6	50.4	82.2	47.8	74.4	40.7	47.4	56.7	中央区
47.5	79.7	51.9	78.8	55.7	78.3	44.6	48.3	52.2	南区
51.2	82.3	53.7	76.9	53.7	69.6	39.0	48.1	56.1	城南区
47.9	82.5	59.8	78.5	56.0	77.3	46.1	51.4	60.8	早良区
48.7	78.5	52.4	73.6	54.1	74.6	41.5	43.1	57.6	西区

福岡市の都市環境などで『不満がある』点について、性別にみると、男性は「市民のマナー」(47.0%)、女性は「犯罪の少なさ」(41.3%)の不満度が最も高くなっている。

性・年代別にみると、男性18～29歳・50代、女性50代以下では「犯罪の少なさ」、男性30代・40代・60代以上、女性60代以上では「市民のマナー」の不満度が最も高くなっている。

図表 福岡市の都市環境などで『不満がある』点【性・年代別】

単位: %

	調査数	自然環境の豊かさ	住宅事情	交通の便	買い物の便利さ	物価の安さ	新鮮でおいしい食べ物	芸術・文化水準	教育環境	子育てのしやすさ
全体	2,122	9.9	19.8	20.2	8.3	26.6 (4位)	5.2	16.6	16.6	15.0
男性計	893	11.9	22.1	23.8	9.7	29.8 (4位)	6.9	19.1	20.2	16.5
18～29歳	94	20.2	22.3	17.0	8.5	39.4 (3位)	5.3	17.0	28.7 (5位)	19.1
30代	103	14.6	27.2	34.0 (4位)	6.8	32.0 (5位)	9.7	17.5	15.5	11.7
40代	151	13.9	23.8	24.5	8.0	29.1 (5位)	6.6	19.2	22.5	19.9
50代	160	13.1	28.8 (5位)	30.0 (4位)	11.9	24.4	8.7	22.5	23.1	19.4
60代	153	9.8	20.9	24.1	9.2	31.4	4.6	22.9	23.5	18.3
70歳以上	217	5.5	12.4	17.1	10.1	26.7 (4位)	6.9	15.2	11.9	10.1
女性計	1,183	8.4	18.5	17.9	7.3	24.2 (4位)	4.1	15.0	14.2	14.3
18～29歳	104	9.7	16.3	16.3	5.8	33.6 (3位)	3.8	14.5	18.3	15.4
30代	138	10.2	31.1 (3位)	20.2	2.8	27.5 (4位)	5.1	10.2	18.1	19.6
40代	207	9.6	19.3	15.9	5.3	20.8	4.9	17.4	16.9	16.5
50代	219	10.5	21.9 (5位)	18.7	5.5	21.0	2.8	15.6	13.7	12.8
60代	195	8.7	16.9	21.5	11.3	22.0	4.6	15.4	11.3	13.9
70歳以上	304	5.2	10.9	15.8	10.5	25.3 (3位)	3.7	15.8	11.5	11.2

就業機会の多さ	医療機関の充実	福祉の充実	人の親切や人情味	地域住民の連帯感	自然災害の少なさ	犯罪の少なさ	市民のマナー	充実に エリ ジョン ・ 施設 の リ	
24.4 (5位)	12.1	19.5	12.6	22.9	14.4	42.7 (1位)	42.5 (2位)	27.5 (3位)	全体
26.8 (5位)	13.0	22.9	14.3	26.7	17.6	45.3 (2位)	47.0 (1位)	31.3 (3位)	男性計
30.9 (4位)	8.5	12.7	21.2	27.6	19.2	55.3 (1位)	48.9 (2位)	26.6	18～29歳
20.4	15.5	10.7	17.5	25.3	20.4	53.4 (1位)	53.4 (1位)	37.9 (3位)	30代
34.4 (3位)	14.5	23.2	13.2	19.9	20.6	51.0 (2位)	53.0 (1位)	33.1 (4位)	40代
23.8	15.0	26.3	12.5	21.3	20.7	48.2 (1位)	48.2 (1位)	31.3 (3位)	50代
35.9 (5位)	16.4	34.6	11.8	37.3 (4位)	18.3	47.0 (2位)	52.3 (1位)	37.9 (3位)	60代
19.4	8.7	20.8	11.5	27.1 (3位)	11.1	27.6 (2位)	33.6 (1位)	23.1 (5位)	70歳以上
23.1 (5位)	11.3	16.9	11.7	20.5	12.2	41.3 (1位)	40.0 (2位)	25.2 (3位)	女性計
19.2	6.7	9.6	12.5	21.2 (5位)	14.4	49.0 (1位)	38.5 (2位)	24.0 (4位)	18～29歳
19.5	7.2	15.2	11.6	15.9	17.4	54.4 (1位)	46.3 (2位)	27.5 (4位)	30代
22.7 (5位)	14.0	14.0	13.5	25.1 (4位)	15.4	51.6 (1位)	43.0 (2位)	31.9 (3位)	40代
25.1 (4位)	13.7	18.8	10.5	20.1	14.2	45.7 (1位)	45.2 (2位)	28.3 (3位)	50代
26.1 (3位)	11.3	23.6 (5位)	13.3	19.0	7.7	32.8 (2位)	40.0 (1位)	24.6 (4位)	60代
23.0 (4位)	11.2	16.4	9.9	21.0 (5位)	8.6	27.0 (2位)	32.2 (1位)	18.1	70歳以上

福岡市の都市環境などで『不満がある』点について、行政区別にみると、東区、博多区、城南区、早良区では「犯罪の少なさ」、中央区、南区、西区では「市民のマナー」の不満度が最も高くなっている。

図表 福岡市の都市環境などで『不満がある』点【行政区別】

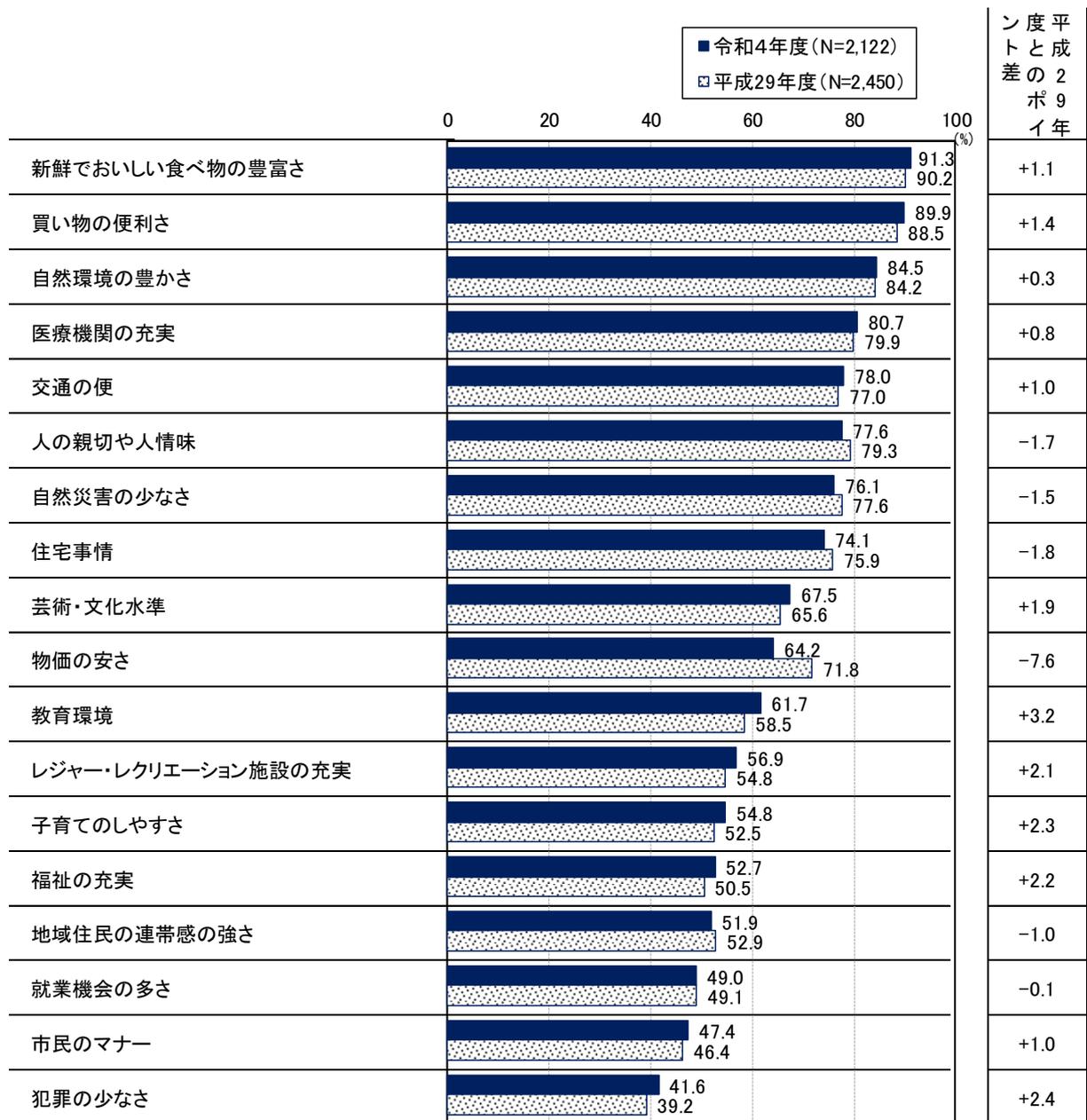
単位: %

	調査数	自然環境の豊かさ	住宅事情	交通の便	買い物の便利さ	物価の安さ	新鮮でおいしい食べ物 の豊富さ	芸術・文化水準	教育環境	子育てのしやすさ
全体	2,122	9.9	19.8	20.2	8.3	26.6	5.2	16.6	16.6	15.0
東区	404	8.4	19.8	23.0	9.9	28.2	6.9	15.6	17.9	18.8
博多区	274	17.1	25.2	18.2	7.7	28.1	7.0	15.7	18.6	15.3
中央区	270	11.1	20.7	16.3	5.9	27.7	4.0	25.2	18.5	17.7
南区	354	9.9	14.4	23.4	11.6	25.5	5.1	16.6	15.2	14.7
城南区	164	12.2	22.6	22.5	6.7	28.7	6.7	14.0	15.3	11.6
早良区	321	5.3	18.7	18.1	7.7	22.4	4.0	16.5	14.9	12.5
西区	292	7.5	21.2	20.6	6.5	26.4	3.0	13.4	17.1	13.4

就業機会の多さ	医療機関の充実	福祉の充実	人の親切や人情味	地域住民の連帯感の強さ	自然災害の少なさ	犯罪の少なさ	市民のマナー	レジャー・レクリエーション施設の充実	
24.4	12.1	19.5	12.6	22.9	14.4	42.7	42.5	27.5	全体
26.3	15.4	22.3	12.1	27.0	13.4	44.6	44.1	28.5	東区
21.2	10.9	19.0	13.1	20.1	13.5	47.0	44.5	26.2	博多区
23.7	10.4	18.2	10.8	25.6	16.0	42.9	45.5	31.8	中央区
26.0	11.0	17.5	11.8	20.3	13.5	39.8	40.4	31.4	南区
21.3	10.3	21.4	10.4	25.0	18.9	45.7	39.0	25.6	城南区
26.5	12.2	18.1	14.6	23.1	14.9	40.5	40.2	23.7	早良区
26.0	12.4	19.9	15.1	20.6	14.4	42.5	45.9	26.1	西区

満足度について、過去の調査結果と比較すると、令和4年度は平成29年度に比べて、満足度が高くなった項目が12項目、低くなった項目が6項目となっている。平成29年度と比べて特にポイントの差が大きいものについてみると、「教育環境」が3.2ポイント増加、次いで「犯罪の少なさ」が2.4ポイント増加、「子育てのしやすさ」が2.3ポイントの増加となっている。逆に、「物価の安さ」は7.6ポイントの減少となっている。

図表 福岡市の都市環境などに関する満足度【過去の調査との比較】



不満度について、過去の調査結果と比較すると、令和4年度は平成29年度に比べて、不満度が低くなった項目が14項目、高くなった項目が4項目となっている。平成29年度と比べてポイントの差が大きいものについてみると、減少した項目では「福祉の充実」が3.7ポイント減少、「教育環境」が3.2ポイント減少、増加した項目では「物価の安さ」が6.1ポイント増加、「自然災害の少なさ」が3.2ポイントの増加している。

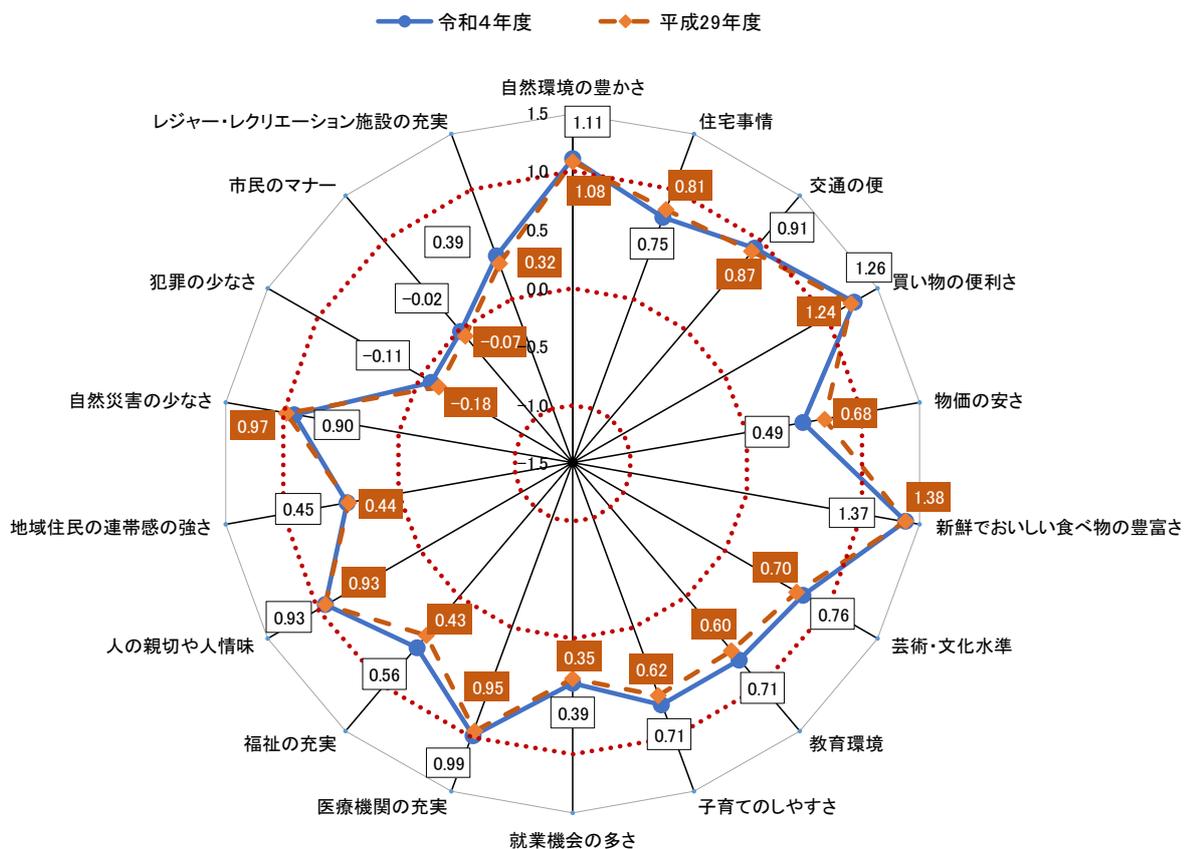
図表 福岡市の都市環境などに関する不満度【過去の調査との比較】



福岡市の都市環境などの満足度について、平均評定値*を過去の調査結果と比較すると、「自然環境の豊かさ」「買い物の便利さ」「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」は平成29年度と令和4年度のどちらも平均評定値が1.00を超えている。一方、「犯罪の少なさ」「市民のマナー」はどちらも平均評定値がマイナスとなっている。

また、令和4年度は平成29年度と比べ、18項目中13項目でポイントが上がっている。特に「福祉の充実」(+0.13)、「教育環境」(+0.11)の数値が向上している。

図表 福岡市の都市環境などに関する満足度（平均評定値）【過去の調査との比較】



※平均評定値について
 イメージ等、通常は数値的に評価することができないものを定量的に評価するため、「満足している」：+2点、「どちらかといえば満足」：+1点、「どちらかといえば不満」：-1点、「不満がある」：-2点と回答を得点化し、この平均を求めたもの。したがって、+2点に近いほど「肯定（好意的）」、逆に-2点に近いほど「否定（非好意的）」であることを示す。

図表 福岡市の都市環境などに関する満足度（平均評定値）【過去の調査との比較】

単位：点

	調査数	自然環境の豊かさ	住宅事情	交通の便	買い物の便利さ	物価の安さ	新鮮でおいしい食べ物の豊富さ	芸術・文化水準	教育環境	子育てのしやすさ
令和4年度	2,122	1.11	0.75	0.91	1.26	0.49	1.37	0.76	0.71	0.71
平成29年度	2,450	1.08	0.81	0.87	1.24	0.68	1.38	0.70	0.60	0.62

就業機会の多さ	医療機関の充実	福祉の充実	人の親切や人情味	地域住民の連帯感の強さ	自然災害の少なさ	犯罪の少なさ	市民のマナー	レジャー・施設の充実	
0.39	0.99	0.56	0.93	0.45	0.90	-0.11	-0.02	0.39	令和4年度
0.35	0.95	0.43	0.93	0.44	0.97	-0.18	-0.07	0.32	平成29年度

※網掛けは「0.00」から最も遠い数値に行っている。